

犠牲にされた地域での生活

‘PT Vale Indonesiaによるニッケル鉱山拡張が南スラウェシの環境と人権に与える影響の検証’

Slamet Riadi／スラメット・リアディ

Head of Research and Public Engagement WALHI South Sulawesi

インドネシア環境フォーラム（WALHI）南スラウェシ 調査・パブリックエンゲージメント部リーダー



人類学

生態学
搾取主義
空間学

“犠牲区域 (Sacrifice Zones／サク リファイス・ ゾーン)”

この用語は、米国における環境活動の文脈、特に環境正義の研究において初めて普及した。例えば、Steve Lernerの著書『犠牲区域：米国における有害化学物質曝露の最前線』（2010年）では、有害な工業地域がいかに脆弱なコミュニティの地域に体系的に配置されているかを分析している。

しかし、過去10年間でこの用語はグローバルな文脈で広く使用されるようになり、グローバル・サウス（ラテンアメリカ、東南アジア、アフリカなど）においても、資源採掘プロジェクトや大規模開発プロジェクトを説明する際に用いられるようになった。例えば、現在「ニッケルブーム」を経験しているスラウェシ島では、周辺住民は何の恩恵も受けていない。



- 1967年5月26日にインドネシア政府が実施した入札に参加した数カ国の中から、カナダに本社を置く Inco Ltdの子会社であるPT Inco (PT Vale Indonesia) が入札の落札者に選定された。
- そしてこのことが、南スラウェシ北部のニッケル産業による大規模な採掘活動が、地域社会の生活と環境、特に熱帯雨林生態系およびマリリ湖群に属するいくつかの湖（マタノ湖、マハロナ湖、トウティ湖、ラントゥア湖、マサピ湖）に、大きな変化をもたらしてきている所以である。

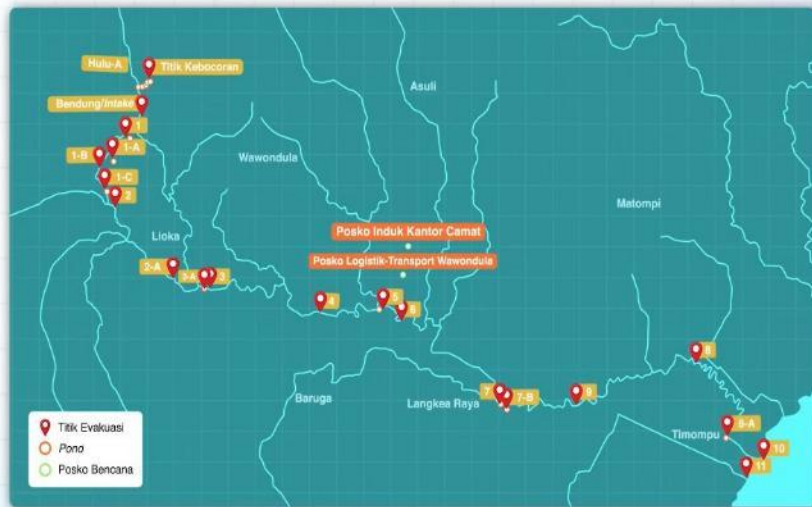


Mangkasa Pointからの石油パイプライン経路図 Peta Jalur Pipa Minyak Mangkasa Point



#publikasikanSulsel

石油パイプライン漏洩影響評価ポイント Titik Evakuasi Dampak Kebocoran Pipa Minyak



2025年8月23日、PT Vale Indonesiaの石油パイプラインから漏洩（Marine Fuel Oil（MFO）または高硫黄燃料油-HSFO）が発生し、灌漑用水路、河川、水田を汚染し、さらには動物の死を引き起こした。影響を受けた村は少なくとも6つあり、Lioka、Langkea Raya、Baruga、Wawondula、Matompi、Timompuである。これは2009年、2012年、2014年（ランピア沿岸）、2010年、2025年（陸地）と繰り返されている事故である。



ロエハ・ラヤ地域で女性たちが直面する紛争状況と圧力は、現在ますます深刻化している。2025年は過去数年間とは大きく異なる状況を示している。かつて女性たちが直面していたのは鉱山企業の活動計画からの圧力のみだったが、現在ではその圧力は多層化している。これは、PT Valeの鉱区内または地域コミュニティの胡椒畑周辺に陸軍大隊が駐屯しようとしていることが原因である。ロエハ・ラ地域での軍隊の駐留により、女性たちは監視されていると感じ、声を封じられ、安全に発言できる場を失ったかのような心理的脅威に直面している。



アスリ村の二人の男性が、PT Vale Indonesiaによって採掘されてしまった彼らの胡椒畑の場所を指さしている。実際、現在では地域コミュニティ、特に農民は短期作物の栽培、非正規労働、そして出稼ぎに頼るしかない状況だ。さらに、Ferrari Hielsでの採掘活動は住民の水源地を汚染している。

Perbandingan kondisi Patok Ukur Manual Yang Terpasang Di sawah Petani Blok Lengkomali



Peteaの水門閉鎖前の水位計の状態
→ **: Kondisi Patok pada saat Belum ada Penutupan pintu air di Petea**



Peteaの水門閉鎖後1晩経過した水位計の状態、水位が約1cm低下
→ **: Kondisi Patok Setelah Penutupan Pintu air Petea Selama satu Malam, Terjadi Penurunan air Sekitar 1 Cm**



: Kondisi Patok Setelah Penutupan Puul Pintu air Petea dan Pembukaan pintu Air Level Max Di Larona Selama satu Malam, Terjadi Penurunan air Sekitar 10 Cm

Peteaの水門閉鎖後およびLaronaの水門を最大レベルで開けた状態での1晩経過後の水位計の状態、水位が約10cm低下



2025年5月8日から6月2日にかけて、Peteaの水門開放によりマハロナ湖で洪水が発生した。住民の証言およびPT Valeの確認によると、マハロナ湖には水位を測定する装置が存在しない。この洪水はティンバロ川の水が原因であり、同河川の上流にはPT Vale Indonesiaが所有するPeteaダムがあり、発電の需要に応じて放流量を調整している。

この現象は今年に限ったものではなく、過去数年間にわたり発生している。さらに、この洪水によりTole村Lengkomali地区の地域コミュニティの水田が浸水した。約21世帯が影響を受け、浸水した水田の面積は約29.2ヘクタールに及んだ。この事態に対する補償は行われたものの、住民はValeに対し、この毎年の問題を解決するよう強く求めている。

これは私たち（Source International、FoE Japan、およびWALHI 南スラウェシ）による、PT Vale Indonesiaの東ルウ県におけるニッケル事業拡大に関する報告書である。詳細な報告書はこちらから参照可。

<https://www.source-international.org/featured-indonesia-sulawesi-nickel>

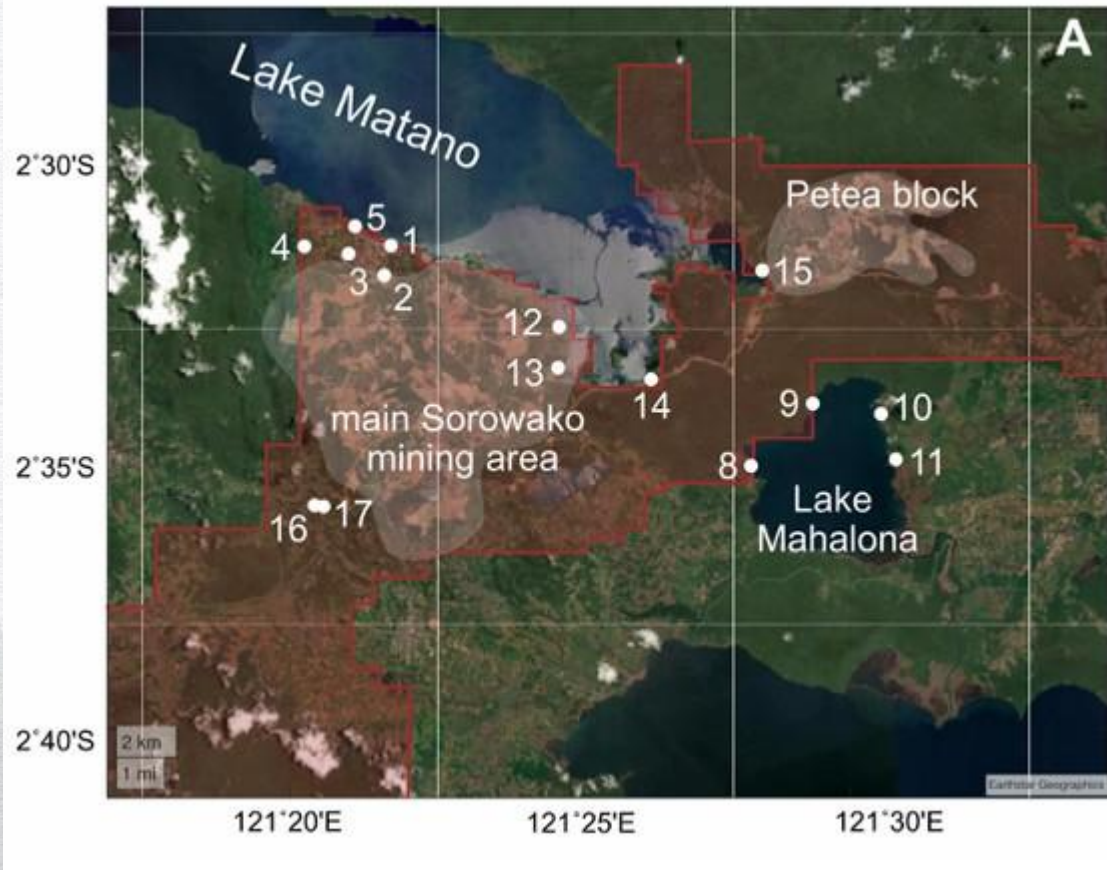
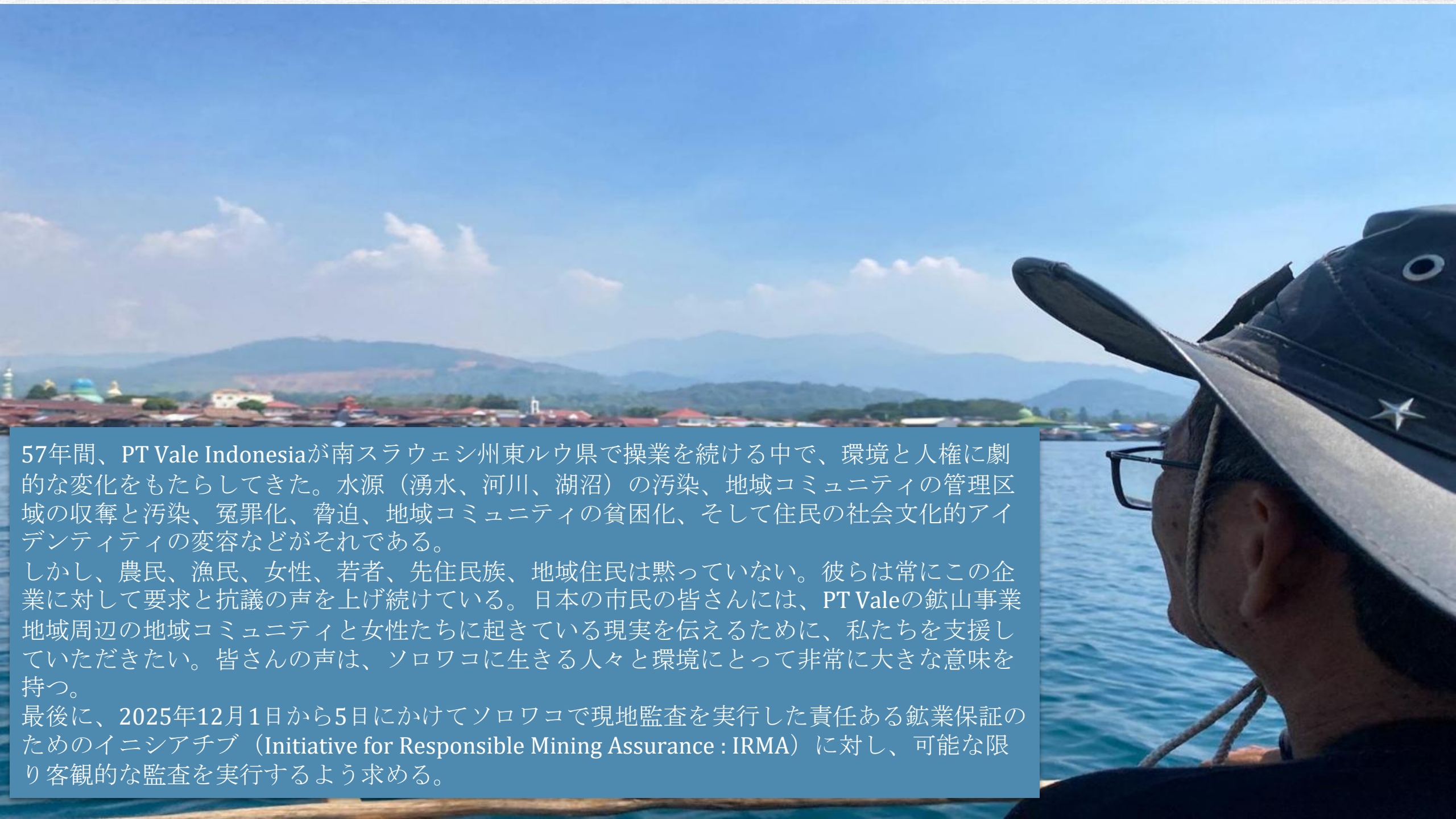


Table A4. Heavy metal concentrations in sediments (in mg/kg) and Canadian Environmental Quality Guidelines (ISQG = Interim Sediment Quality Guidelines; PEL = Probable Effect Level). Values exceeding ISQG values are highlighted in dark red. Values in grey were either not detected ("n.d.", reported as zeros by the laboratory) or ≤ their limit of detection (values in Table A1). We did not collect sediments in locations 13, 15, 16, and 17; these samples are thus not included in the table. * United States consensus-based PEL.

Sample ID	Aluminum	Antimony	Arsenic	Barium	Beryllium	Boron	Cadmium	Cobalt	Chromium	Chromium IV	Iron	Manganese	Mercury	Molybdenum	Nickel	Lead	Copper	Selenium	Tin	Thallium	Vanadium	Zinc
1	5800	n.d.	0.59	41	0.13	n.d.	0.31	330	2800	1	100000	3500	0.7	0.2	4000	25	53	0.41	2.6	0.1	34	570
2	7200	n.d.	0.56	39	0.095	n.d.	0.39	460	6100	5	170000	3400	0.68	0.13	4900	6	28	n.d.	0.09	0.1	35	410
3	3100	n.d.	0.27	40	0.13	n.d.	0.095	240	560	0.84	34000	2100	0.37	n.d.	1200	3	14	n.d.	0.18	0.077	19	37
4	4200	n.d.	1.1	68	0.22	n.d.	0.094	45	160	0.43	18000	1000	0.5	0.3	600	4.7	21	0.34	1.5	0.037	22	34
5	2000	n.d.	0.19	16	0.085	n.d.	0.027	130	330	0.52	22000	910	0.25	0.047	760	2.1	7.8	0.19	0.1	0.021	9.3	42
8	21000	n.d.	0.094	24	0.18	n.d.	0.09	710	3700	16	270000	6000	0.58	n.d.	7900	2.7	63	0.68	0.086	0.18	110	170
9	5600	n.d.	0.11	22	n.d.	n.d.	n.d.	220	2200	0.74	69000	570	0.58	n.d.	2300	2.5	9.9	n.d.	0.85	n.d.	19	56
10	8600	n.d.	0.58	120	0.26	n.d.	0.31	150	2300	7.8	35000	630	0.73	0.097	2500	4.3	53	3.5	0.58	0.078	75	96
11	15000	n.d.	0.37	25	0.084	n.d.	0.094	170	850	0.65	61000	3300	0.74	0.084	1800	1.4	56	n.d.	0.069	n.d.	77	66
12	15000	n.d.	0.1	11	0.068	n.d.	n.d.	460	2500	4.7	140000	3500	0.68	n.d.	3200	4.3	34	n.d.	0.084	0.12	71	67
14	5600	n.d.	0.073	19	n.d.	3.6	0.14	610	1500	0.64	120000	4000	0.6	0.43	11000	n.d.	25	0.2	n.d.	0.095	43	130

Table A3. Heavy metal concentrations in surface water (in µg/L) and Indonesian Environmental Quality Standards for rivers and lakes (EQS, classes I to IV) and drinking water quality (DW; see Table 1). Values exceeding the relevant reference levels are bold and highlighted in dark red. Cells highlighted in bold and grey have values above reference levels that are not directly relevant for the specific water use. Values in grey were either not detected ("n.d.", reported as zeros by the laboratory) or ≤ their limit of detection (values in Table A1).

Sample ID	Aluminum	Antimony	Arsenic	Barium	Beryllium	Boron	Cadmium	Cobalt	Chromium	Chromium IV	Iron	Manganese	Mercury	Molybdenum	Nickel	Lead	Copper	Selenium	Tin	Thallium	Vanadium	Zinc
1	3.2	n.d.	n.d.	2.1	n.d.	37	n.d.	0.99	20	12	74	39	0.1	0.12	21	n.d.	0.2	0.53	n.d.	n.d.	n.d.	3.6
2	1.5	0.94	n.d.	5.7	n.d.	39	n.d.	2.4	14	11	46	180	n.d.	0.24	36	n.d.	0.16	0.94	n.d.	n.d.	n.d.	1.7
3	9.7	0.2	n.d.	9.9	n.d.	20	n.d.	0.48	130	81	39	19	n.d.	n.d.	6.9	0.38	0.29	n.d.	n.d.	n.d.	0.42	n.d.
4	12	1.4	n.d.	26	n.d.	18	n.d.	0.12	11	9.9	29	2.5	n.d.	0.14	3.7	n.d.	0.27	0.21	n.d.	n.d.	2.2	3.9
5	13	2.5	n.d.	20	n.d.	16	n.d.	0.7	110	80	51	39	n.d.	n.d.	8.1	n.d.	0.32	n.d.	n.d.	n.d.	0.45	4
8	32	0.83	n.d.	20	n.d.	15	n.d.	0.62	13	8.1	130	9.8	n.d.	n.d.	14	0.22	0.7	n.d.	n.d.	n.d.	0.34	13
9	50	3	n.d.	38	n.d.	15	n.d.	0.89	10	6.6	290	12	n.d.	n.d.	17	n.d.	0.37	n.d.	n.d.	n.d.	0.49	18
10	9.6	0.79	n.d.	28	n.d.	15	n.d.	0.27	5.7	5.5	34	5.4	n.d.	n.d.	7	n.d.	0.14	n.d.	n.d.	n.d.	0.3	11
11	110	0.11	n.d.	0.81	n.d.	9.4	n.d.	0.45	10	7.3	220	34	n.d.	n.d.	11	n.d.	0.52	n.d.	n.d.	n.d.	2.4	4.5
12	22	0.16	n.d.	3.3	n.d.	9.9	n.d.	0.34	23	20	15	6.5	n.d.	n.d.	26	n.d.	0.2	0.56	n.d.	n.d.	n.d.	2.6
13	25	1.7	n.d.	8.9	n.d.	26	n.d.	2.9	43	12	180	100	n.d.	n.d.	19	n.d.	0.37	0.82	n.d.	n.d.	n.d.	14
14	310	0.34	n.d.	33	n.d.	23	n.d.	49	45	9.6	2100	360	n.d.	n.d.	830	n.d.	1.6	0.46	n.d.	n.d.	0.73	24
15	25	n.d.	n.d.	0.41	n.d.	15	n.d.	1.2	19	17	72	51	n.d.	n.d.	21	n.d.	0.15	0.36	n.d.	n.d.	n.d.	3.2
16	61	21	n.d.	150	n.d.	16	n.d.	0.53	7.4	7.1	85	34	n.d.	0.13	24	n.d.	2.1	n.d.	n.d.	n.d.	2.9	61
17	33	0.28	n.d.	7.3	n.d.	15	n.d.	0.1	7.4	7.7	15	2.1	n.d.	0.11	2.5	n.d.	0.33	n.d.	n.d.	n.d.	2	6.5



57年間、PT Vale Indonesiaが南スラウェシ州東ルウ県で操業を続ける中で、環境と人権に劇的な変化をもたらしてきた。水源（湧水、河川、湖沼）の汚染、地域コミュニティの管理区域の収奪と汚染、冤罪化、脅迫、地域コミュニティの貧困化、そして住民の社会文化的アイデンティティの変容などがそれである。

しかし、農民、漁民、女性、若者、先住民族、地域住民は黙っていない。彼らは常にこの企業に対して要求と抗議の声を上げ続けている。日本の市民の皆さんには、PT Valeの鉱山事業地域周辺の地域コミュニティと女性たちに起きている現実を伝えるために、私たちを支援していただきたい。皆さんの声は、ソロワコに生きる人々と環境にとって非常に大きな意味を持つ。

最後に、2025年12月1日から5日にかけてソロワコで現地監査を実行した責任ある鉱業保証のためのイニシアチブ（Initiative for Responsible Mining Assurance : IRMA）に対し、可能な限り客観的な監査を実行するよう求める。

住友金属鉱山
および
日本の市民の
皆さんへの
要求と
メッセージ



タナマリア鉱区の全区域をPT Vale Indonesiaの鉱業コンセッションから解放するよう訴え、要求すること

鉱業活動およびMFO/HSFO油流出の影響を受けた住民の清潔な水へのアクセス、河川、湖沼、および水田地帯の回復と改善に直ちにに取り組むこと

将来の有害な汚染を防ぐため、特に上流部やコミュニティの水源地域において、重要な生態系地域（森林や河川流域）でのニッケル採掘活動を停止すること

地域コミュニティの健康、環境、および適切な生計手段に係る基本的人権を尊重すること

地域コミュニティの意見表明の自由を尊重し、（コミュニティの）管理区域とその環境を擁護すること

ありがとうございます。

TERIMA KASIH

SALAM ADIL DAN LESTARI

公正で持続可能な未来へ



ルメレオ山地（タナマリア）のPT Vale Indonesiaの鉱業コンセッションを廃止せよ